

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介するコーナーがステイ・スマイル(笑顔のまま)です。

Stay Smile



ステイ・スマイル

Stay Smile 農業の未来へ向かって～新たな力～

町新規就農支援事業

◆久保芳一さん（乙事）

2013年より、乙事にて就農を開始して3シーズン目が終了いたしました。主にレタス、キャベツなどの葉物野菜を栽培しています。耕作面積も1年目より、順調に増えており、来年は12町歩程の耕作を予定しています。これも町や地域の方々の想像以上の協力とバックアップがあればこそ、勇気を持って一步前に踏み出せることと痛感しております。毎年、いろいろな問題がありますが、一つ一つ試行錯誤をしながら解決していく、なんとか1年目より2年目3年目と体力的、精神的にも少しずつ時間が持てる様になってきました。できた時間を使って、富士見町の発展のために、いろいろな地元組織に積極的に参加をして、恩返しをしていければと考えています。

私は農業を志して、24歳の時に愛知県から長野県の北佐久地域の農業法人に就職をした、俗に言うIターンです。就職した農業法人の下で5年間の研修をして富士見町で独立営農ができました。今その農業法人と町、農協とが手を組んで富士見町で富士見みらいプロジェクトという事業の成功のため奮闘しております。内容はレタス産地を作ろうと言うものです。私もそのプロジェクトの一端として微力ながらがんばっております。このプロジェクトが町や地元農業者の方々などに、裾野の広い発展に寄与すると信じております。

未熟ものではありますが、富士見町と町の農業のために少しでも力になればとがんばっていきますので、これからも宜しくお願い致します。



Stay Smile 井戸尻文化の“最重要遺跡”～探究心と熱意～

井戸尻考古館 ☎64-2044

昭和33年の井戸尻遺跡の発掘をきっかけに、富士見町域ではいくつかの遺跡が発掘されました。そこにかかわった人々を振り返りながら紹介します。

藤内遺跡①（昭和28年～）

ときには「これは別格」という遺跡があります。文化財として優劣はないのですが、特別なムラや強大な権力者の墓など、発見される物や情報量には大きな差があるものです。

井戸尻をはじめとする富士見町の遺跡では、発掘のたびに重要な発見が相次いだのですが、鳥帽子区にある藤内はまさに“別格”的の遺跡でした。

藤内遺跡の発見は、戦後の開拓によるものです。入植したのは小平辰夫さん。尖石の宮坂英式さんのところで発掘の手伝いをしたこともあった小平さんは、その重要性にいち早く気づき、遺跡と遺物を守ります。最初の発掘は宮坂さんにより行われますが、井戸尻遺跡保存会による昭和37年の発掘では火災にあった住居址と、特殊遺構と呼ばれた墓群の一隅を調査、多くの石器や土器が出土しました。

小平さんは農作業に伴って出土する土器などもしっかりと保管していました。そして敷地内に小屋を建て、研究のために訪れる方々のために公開します。それはさながら「藤内考古館」でした。ご自身はその後も町の発掘調査に参加され、遺跡について学び伝えることに尽力されました。その探究心と熱意によって藤内遺跡は守られ、その重要性が知られることになるのです。

参考：『藤内』2011 長野県富士見町教育委員会



▲藤内遺跡全景（昭和28年）



▲区画文筒形土器の発掘

～今回は富士見町図書館から、活動をご紹介します。～

① **家庭読書の日の20冊貸出**

毎月第3日曜日は何の日でしょう？ 答えは「家庭読書の日」です。

富士見町図書館は平成27年度から「家庭読書の日」にちなんで、毎月第3土曜日と日曜日に20冊貸出を行っています。是非沢山の本を借りに来てください♪ 次回：1月16日(土)、17日(日)



▲「本屋さんといつしょ!」の様子

② **本屋さんで行うおはなし会**

年に4回春夏秋冬それぞれの季節に1回ずつ、今井書店富士見店でおはなし会を開催しています。対象は乳幼児～小学生まで幅広く、読み聞かせ、手遊び、本屋さんからの絵本のプレゼントなどを行っています。是非遊びに来てください☆

③ **ぶんるいちゃんと挑戦！図書館クイズ**

今年度初めて7月～8月の夏休み期間に図書館クイズを開催。クイズ用紙と図書館地図を設置して、クイズの答えがどの本に載っているか、図書館の中で本を探しながら10個のクイズに答える企画を開催しました。正解者へは「しおり」をプレゼントしました。

*この他、町内の小学校へ、今年度購入した書籍を含めた100冊をPRしながら巡回しています。ぜひご利用ください。



▲館内で配布した図書館クイズ

④ **町内小学生全員カード登録**

町内の小学生を対象にカード登録することとなりました。一人1枚自分のカードを持ち、読書のきっかけにしてほしいと思います。ご来館お待ちしています。

☆次回はふじみ子どもの本の会の活動をご紹介します。

Stay Smile 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で～子どもの場所から～

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

議論から生まれるもの

11月21日、旧落合小学校体育館で地域交流イベント「てとてと広場」を開催しました。大人も子どもも一緒に集い交流を深め、その中で子どもたちが主体的に社会体験できることを目指して毎年開催しています。小学生が工夫を凝らしたお店を出店お客様相手に活発にやりとりする姿が見られ、その目的は今年も概ね達成できました。また地域の方や商店街の方など大人の皆さんも出店にご協力頂きました。そのひとつに野外保育

「森のいえぼっち」の保護者ブースがあります。

毎年、夏ごろから今年はどんな内容にするか議論し子どもの体験の場



として、野外保育の発信の場として、有意義なものをと、保護者全員が関わり作り上げてくださっています。計画を進めていく中で意見が食い違いぶつかることもあります、皆さんかなりのエネルギーを使います。でも、いいものを作ろうというところは共通しているので、空中分解せず議論を繰り返し最後はまとまります。議論ができるということは、メンバーが皆取り組みを大事に思っているからです。ああしたいこうしたいという気持ちが沸くということは、それだけいいものにしたいと思っているからです。目的のある議論からは「内容の充実」「質の深まり」が生まれます。ぱっちでも4歳5歳の子どもたちが、おさんぽの行き先で自分の希望をその理由をつけて主張し、ほかの子の意見も聞き、調整する子も出てきて、ひとつの答えを出します。子どもも大人も同じですね。さらに「言い合い」ではない「議論」からは、チームワークと信頼関係も生まれるでしょう。てとてと広場当日には、そんな目に見えない産物も集まっています。